

14 国際協調

委員、専門委員又は事務局職員が、以下の国際会議等に参加し、各国の専門家・関係機関との意見・情報交換等を行いました。

2025年	7月	国際食品保全学会年次学会 (IAFP) 2025 (米国)
	9月	EUROTOX2025 (ギリシャ)
		FAO/WHO合同残留農薬専門家会議 (JMPR) (タイ)
		レギュラトリーサイエンスに関する国際会議 (GSRS) 2025 (スイス)
2026年	10月	ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR) 主催 「PFASのリスク評価における課題に関する国際会議」(ドイツ)
	2月	第41回OECD農薬作業部会 (フランス)
	3月	第65回米国毒性学会 (SOT) (米国)

英文電子ジャーナルの紹介

「Food Safety – The Official Journal of Food Safety Commission」は、食品のリスク評価に関する論文、食品安全委員会が取りまとめた評価書の内容等の海外への情報発信を行うため、食品安全委員会が科学技術情報発信・流通総合システムJ-STAGE上に開設した英文電子

ジャーナルです。PMC (PubMed Central) にも収載されています。2025年度は、vol.13 No.2 (2025年6月)、vol.13 No.3 (9月)、vol.13 No.4 (12月) 及びvol.14 No.1 (2026年3月) を発行し、国内外へ広く情報発信しました。

2025年度にFood Safetyに掲載された主な論文等

タイトル	著者
Development of Technical Specification for <i>Clostridium botulinum</i> Detection That Can Be Used as a Reference Method in Japan	Maria Gabriela Quintana Ovelar, Miho Endo, Shiori Yamane, Chie Monma, Tomoko Kohda, Kaoru Umeda, Kayo Okumura, Hisao Kurazono, Eiki Yamasaki
Establishment of Standard Methods for <i>Listeria monocytogenes</i> Detection from Foods in Japan	Yumiko Okada, Akiko Nakama, Yukako Shimojima, Miki Ida, Hiromi Nakamura, Kayoko Otsuka, Sumi Ebuchi, Akiko Tomaru, Tomoko Nishida, Tomotaka Yoshida, Hideaki Matsuoka
Development of a Long-term Migration Test Method for Plastic Food Utensils, Containers, and Packaging	Chiharu Mizuguchi-Fukase, Asako Ozaki, Eri Kishi, Daichi Asakawa, Miku Yamaguchi, Yutaka Abe, Motoh Mutsuga

投稿のお願い

本誌は投稿料（査読）及び掲載料無料で、24時間オンラインシステム (Editorial Manager®) より投稿を受け付けています。本誌のさらなる発展に向けて皆様の投稿をお待ちしています。

国際機関、海外の政府機関や研究機関の食品安全に関する情報提供

国際機関、海外の政府機関や研究機関が公表する食品安全に係る情報を収集し、翻訳・要約して「食品安全関係情報」データベースとして提供しています。キーワード、地域指定、分類選択などで情報を検索できます。海外の食品安全情報の収集には是非ご活用ください。

なお、このデータベースに掲載されている情報に記載されている意見・見解・主張は、情報発信機関又はその情報内で取り上げられている機関等によるものであり、食品安全委員会の考え方と異なる場合がありますのでご注意ください。

世界の情報 (検索ページ)

